

# ハンクネット訪朝報告会 「マスコミでは知ることができない朝鮮の様子」

朝鮮民主主義人民共和国（以下、朝鮮）では慢性的な食糧難で多くの子どもたちが死に瀕していました。そこで、国際社会では、食糧支援・医療支援に取り組み、かなり改善されてきましたが、今も、なお、食糧支援が必要な状況です。

ハンクネットは体制やイデオロギーの違いを超え、1999年以来平壤市等の乳児院に直接粉ミルクを届けています。

日本人拉致・歴史認識問題、テポドン発射・経済制裁と、日本と朝鮮の関係は、半世紀以上も問題を解決できずにいます。日本は対話ではなく、更なる経済制裁強化により、朝鮮を屈服させようとしています。いつも犠牲になるのは弱い子どもたちです。

今回、ハンクネットが2009年8月に平壤市と江原道の乳児院に粉ミルクを届けた時の最新映像を見ながら、訪朝報告をして頂きます。

日本国内では一方的な偏向マスコミ報道が横行し、本当の朝鮮の様子が見えなくなっているというのが、現状ではないでしょうか。

この10年間、人道支援を通して朝鮮の姿を見てきたハンクネットの報告を聞きながら、活動の成果と課題を一緒に考えたいと思います。

報告者：朝鮮人道支援ネットワーク・ジャパン

竹本 昇 共同代表

米津篤八 共同代表（翻訳家）

URL:<http://www.hanknet-japan.org/>

日時：2010年3月13日（土）

受付ー13:30より 開演ー14:00

場所：島根県民会館202会議室

会場費：300円

主催：国籍条項撤廃を考える会 松江

URL:<http://mori.sakura.ne.jp/kokuseki/>

## 【ハンクネット】とは？

日本語正式名称「朝鮮人道支援ネットワーク・ジャパン」

1999年から、食糧難で栄養失調に悩むピョンヤンの乳児院に直接粉ミルクを届ける活動をしています。

1999年11月訪朝写真  
栄養不良によって頬に吹き出物ができている子ども。  
（ピョンヤン市育児院）



2009年8月訪朝写真  
元気な子が増えたが、まだミルクは足りない。  
（ピョンヤン市育児院）



## 国籍条項撤廃を考える会 松江

### 【目的】

島根県と松江市の地方公務員の受験資格から永住外国人の国籍条項撤廃。

### 【活動内容】

資料収集、定期的な講演会等勉強会の開催。

### 【連絡先】

Email: [mori.watiki@gmail.com](mailto:mori.watiki@gmail.com)